

## ■6月17日

## 日航・全日空、国際線旅客燃油サーチャージ、8-9月引下げ

日航と全日空は6月14日までに、2013年8月～9月発券分の国際線旅客便燃油サーチャージ額を国交省へ申請した。両社とも、同期間のサーチャージ額を決める4～5月のシンガポール・ケロシ市況は平均115.94米ドル(2月～3月は128.28米ドル)に値下がりしたため、料金テーブルで1段階引き下げる。

(日刊航空)6/17

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(JAL プレスリリース)6/12

<http://press.jal.co.jp/ja/release/201306/002540.html> (-> <http://press.jal.co.jp/ja/release/201306/002540.html>)

(ANA プレスリリース)6/13

[http://www.ana.co.jp/pr/13\\_0406/13-050.html](http://www.ana.co.jp/pr/13_0406/13-050.html) (-> [http://www.ana.co.jp/pr/13\\_0406/13-050.html](http://www.ana.co.jp/pr/13_0406/13-050.html))



燃油サーチャージテーブル JAL

XX.png

Portable Network イメージフォーマット [9.8 KB]

ダウンロード

## 仙台空港、15年度にも民営化

宮城県が目指す仙台空港の民営化をめぐり、政府は14日に閣議決定した日本再興戦略で、2014年度に運営権を移す民間事業者を決め、15年度にも運営委託を始める計画を明らかにした。

河北新報によると、宮城県の村井嘉浩知事は同日の記者会見で、運営権の移譲先について「グローバルに事業を展開し、空港事業に関わったことがある企業が望ましい」との認識を示した。

また、「目標とする年間利用者600万人、貨物取扱量5万トンをできるだけ早く実現したい」と民営化に向けた意欲をあらためて強調。

運営権の移譲先については 第三セクターなど半官半民の組織に対する運営権の移譲に関しては「ふさわしくない。天引き先が増えるだけ。(民営化が)中途半端になるなら宮城県が手を下ろすこともあり得る」と語った。

(河北新報)6/19

<http://www.kahoku.co.jp/news/2013/06/20130615t11029.htm> (->

<http://www.kahoku.co.jp/news/2013/06/20130615t11029.htm>)

## 政府、海外富裕層、長期日本滞在を認める制度を検討

海外の富裕層の来日を促そうと、政府が誘致策を相次いで打ち出す。一定の資産や年収がある外国人向けに、数年間の日本滞在を認める制度をつくる検討に入った。大都市圏の空港で出入国手続きを簡単にできる優先レーンも新たに設ける。数年以内の実現を目指す。

政府は成長戦略で訪日客数の大幅増を掲げた。観光客を底上げする取り組みとともに、消費額の大きい富裕層に的を絞った対策も急ぎ、国内消費の活性化につなげる

(日経)6/16

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC1401H\\_V10C13A6NN1000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC1401H_V10C13A6NN1000/) (->

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC1401H\\_V10C13A6NN1000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC1401H_V10C13A6NN1000/))

## 国交省、VOR/DMEなど従来型施設の縮退を進める

国土交通省は今年度の行政事業レビューを受けて、航空交通管制に利用されているVOR/DMEなど従来型施設の縮退を進める。

新しい航空交通管制方式であるRNAV(エリアナビゲーション)航法の導入を進めた結果、従来型施設の縮減が可能となった。VOR施設については2012年度末で43か所にあるが、2017年度末までに19施設まで減らす。残った19施設は

RNAVに非対応の航空機向けやRNAV故障時の代替として2018年度以降も残存させる。近年は航法技術の進歩により、自機の位置をGPSなどの衛星電波やDMEから正確に割り出すRNAVが開発され、国内では2007年から導入が開始された。航空路のRNAV化は航空交通容量の拡大につながるるとともに、経路の短縮により、燃料費の削減、飛行時間短縮につながる。航空会社が運航するジェット機や新鋭ターボプロップ機はすでに、ほぼ全てが航空路におけるRNAV対応機となっている。

(日刊航空)6/17

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

#### ルフトハンザグループ、事務所集約、全日空とのJV事業強化

ルフトハンザグループのルフトハンザ・ドイツ航空、オーストリア航空、スイスインターナショナルエアラインズの3社は6月3日から、LH日本支社オフィスに事務所を集約し、業務を開始した。これは、4月1日からルフトハンザ航空と全日空のジョイントベンチャー(JV)事業にオーストリア航空とLXが加わったことによるもの。トラベルビジョンが報じた。

JV事業では4社共通の運賃を設定。往路はオーストリア航空、復路はルフトハンザ航空といった組み合わせを同一料金で提供でき、組み合わせを変えても価格は変更しないとメリットがある。また、ルフトハンザ航空の座席がない場合はスイス航空で利用するなど、路線の変更も柔軟に対応可能だという。

ルフトハンザグループによると、2013年夏期スケジュールの日欧ノンストップ便で、4社の座席シェアは、全体の31.5%。

(トラベルビジョン)6/16

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57925> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57925>)

#### 韓国航空各社、中国路線を拡充

今年1-4月の累計入国者数は、日本人が87万人で、中国人(86万8000人)をわずかに上回った。日本人入国者は前年同期比で23.5%減少したのに対し、中国人入国者は54%増えた。

特に空の便で済州島を訪れた外国人は、4月に中国人が8万4180人を数え、日本人(8946人)に比べ10倍近く多かった。

朝鮮日報によると、そうした傾向に合わせ、韓国の航空各社は、中国路線に保有機体を大挙投入している。大韓航空は来月から釜山-南京線(週4便)を新たに就航させる。

中国22都市に31路線を運航しているアジアナ航空は、今年1-4月に中国路線の輸送力を前年同期比で13%増やした。2月に仁川-塩城(江蘇省)線、4月に仁川-麗江(雲南省)線にチャーター便を運航したのに続き、仁川から黄山(安徽省)、成都、長沙、大連への路線も週3-10便に増便した。昨年末には仁川-徐州(江蘇省)線に就航した。

中国路線の攻略で出遅れた格安航空会社(LCC)はさらに積極的だ。中国路線はオープンスカイ協定がある日本とは異なり、運航枠に制限があるため、定期便の運航は難しい。このため、LCCは制限を回避するため、市場の状況に素早く対応できる臨時便の運航で、中国航空市場への参入を図っている。

済州航空は今年1-5月に中国11都市に臨時便を運航し、6万人が利用した。同社は現在、仁川-石家荘・威海線、済州-福州・南昌線、釜山-張家界線など7都市に就航している。

昨年中国路線で711便を運航したイースター航空は、今年1月に清州-瀋陽線に定期便を開設したほか、済州-昆明線にも就航した。同社は仁川、清州、済州を拠点として、中国に13路線の臨時便を運航している。

ジンエアーも最近、済州-延吉・長沙線で臨時便を運航した。

(朝鮮日報)6/16

[http://www.chosunonline.com/site/data/html\\_dir/2013/06/16/2013061600049.html](http://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2013/06/16/2013061600049.html) (->

[http://www.chosunonline.com/site/data/html\\_dir/2013/06/16/2013061600049.html](http://www.chosunonline.com/site/data/html_dir/2013/06/16/2013061600049.html))

#### 台湾対中窓口、中国旅行者、台湾への個人旅行、対象都市を段階的に拡大

台湾の対中窓口機関、海峡交流基金会は16日、中国人旅行者の台湾への個人旅行の対象都市を北京、上海など現行の計13都市から、計26都市へ段階的に拡大させると発表した。

28日から瀋陽、鄭州、武漢、蘇州、寧波、青島の6都市を、8月28日から石家荘、長春、合肥、長沙、南寧、昆明、泉

州の7都市を新たに解禁する。

(産経biz)6/16

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/130616/chn13061619300002-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/130616/chn13061619300002-n1.htm>)